

Panasonic®

DCサーボ オートマチック
ターンテーブルシステム



TAP はプラグインコネクター方式の統一マークです。
本マークのついた製品は互いに互換性及び適応性があります。

品番 **SL-J8**

取扱説明書

保証書別添



■この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくご使用
ください。その後大切に保管し、わからないとき、もう
一度お読みください。

■保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめ
て、販売店からお受け取りください。

上手に使うって上手に節電

音量は必要以上に大きくしないで！
ご使用後は、忘れずに電源を切って！

RQT3171-S

このたびは、パナソニックのDCサーボ オートマチック ターンテーブルシステムをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

安全にご使用いただくために

電源関係のご注意

- 電源電圧は、AC100Vに！
- 電源プラグの抜き差しはプラグを持って！
ぬれた手は危険です。また、電源コードの上に重い物を載せたり、コードを無理に曲げないでください。

改造・接触などのご注意

- 改造は事故のもと！
感電や故障の原因になります。
- 特にお子様に気をつけて！
すきまなどから金属物を差し込むと、感電や故障の原因になります。

設置場所のご注意

- 次のようなところはさけて！
- 振動の多いところ
 - 湿気の多いところ
 - 直射日光のあたる場所など温度が高いところ
- キャビネットや部品をいため、寿命を短くします。

薬品・水などのご注意

- アルコールやシンナーは禁物！
塗装がはげたり、くもりが生じます。
- スプレー式の殺虫剤にご注意を！
「ヒビ割れ」や「くもり」、また引火の恐れもあります。
- 水は禁物！
火災や感電の恐れがあります。

使用後のご注意

長期間使用しないときは、安全のため必ず電源プラグを抜いて！
思わぬ事故につながる恐れがあります。

万一、故障が起きたら

ただちに電源プラグを抜き取り、お求めの販売店にお問い合わせください。

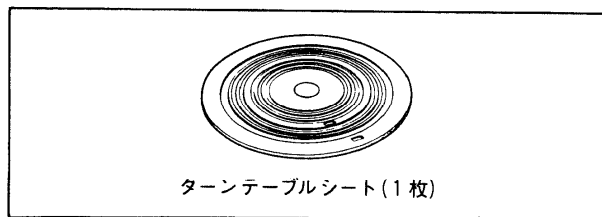
—音のエチケット—

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク



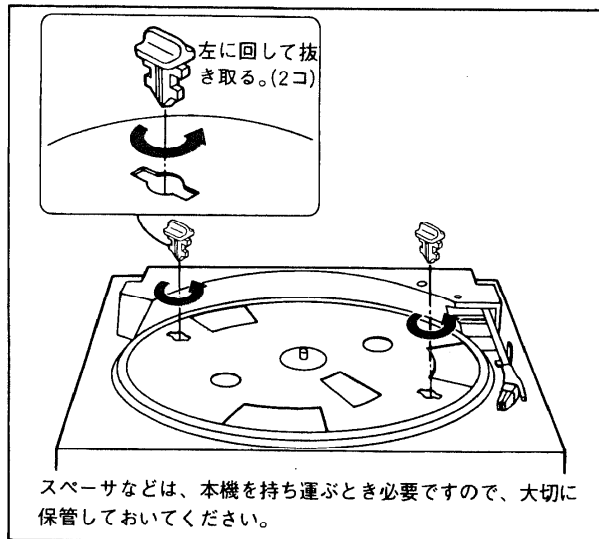
付属品



ターンテーブルシート(1枚)

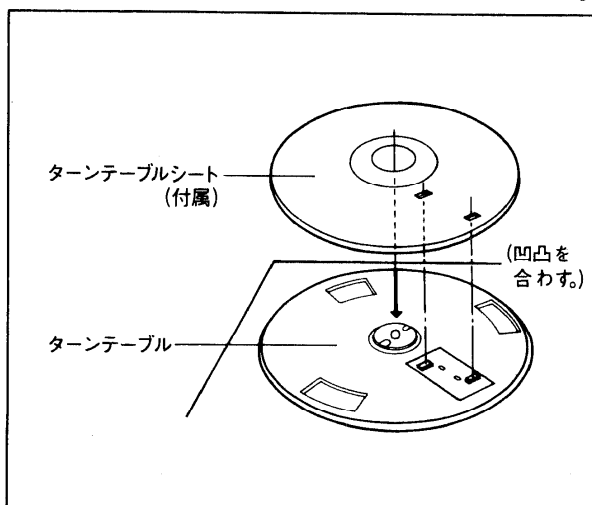
組立て

1. スペーサを取り外す。



2. ターンテーブルシートをのせる。

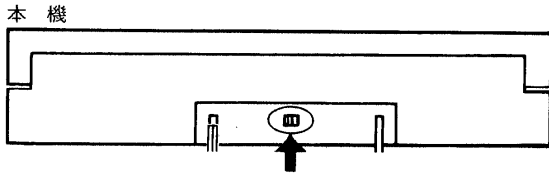
付属のターンテーブルシートを必ずご使用ください。



接続のしかた

PHONO OUT/LINE OUT 切換の設定

接続する前に必ずPHONO OUT/LINE OUT 切換を接続する機器に合わせて、設定してください。



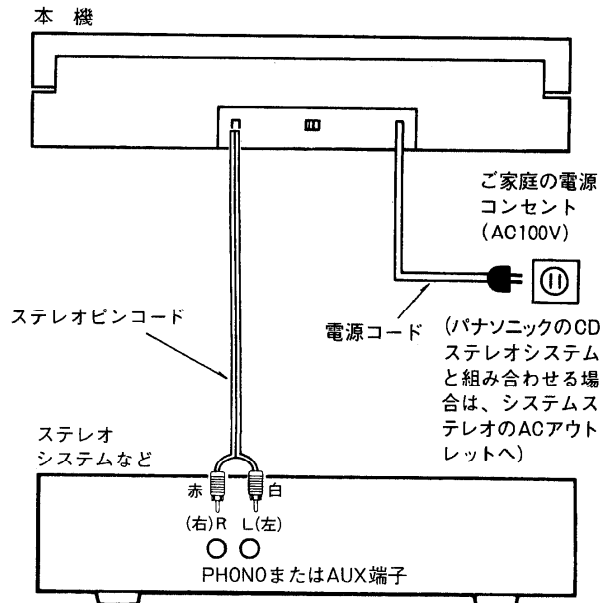
PHONO OUT/LINE OUT 切換

接続する機器	設定位置
プレーヤー (PHONO) 端子付のステレオシステムやラジオカセットに接続する場合	← "PHONO OUT"に
補助入力 (AUXまたはLINE) 端子付のステレオシステムやラジオカセットに接続する場合	→ "LINE OUT"に

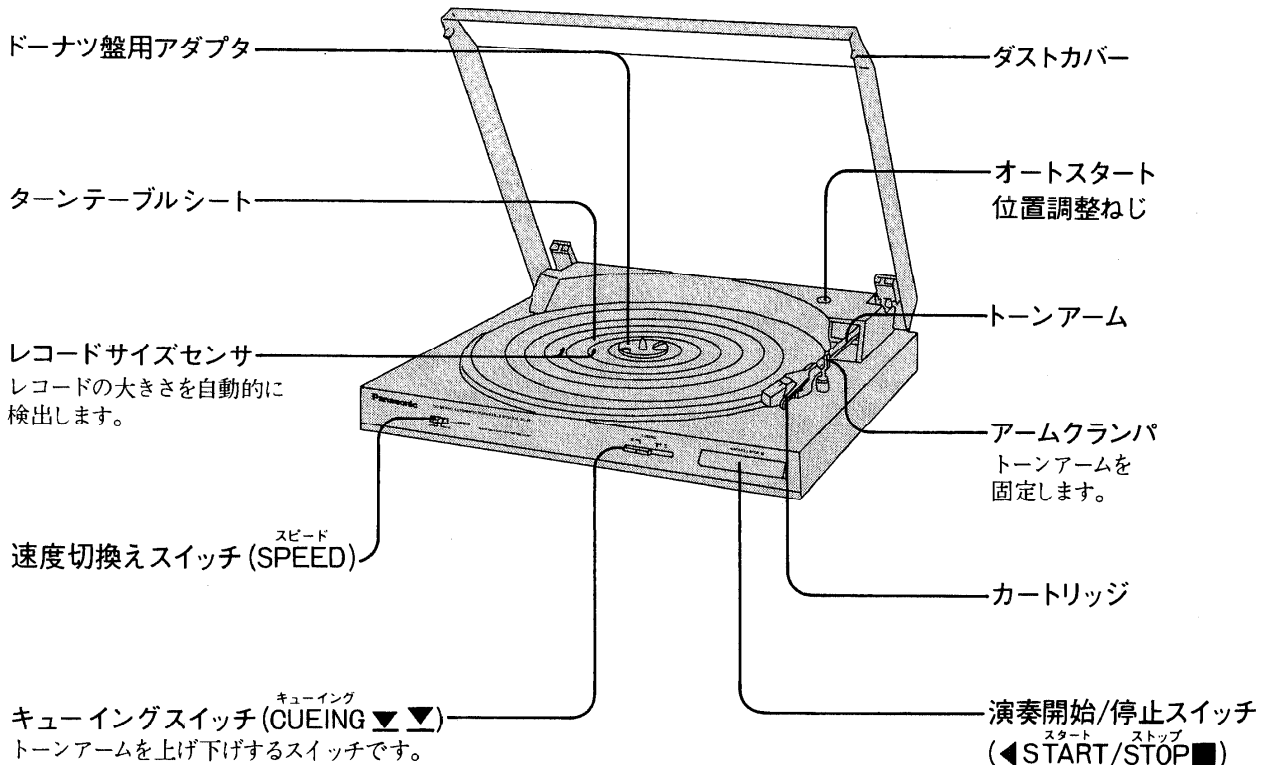
ご注意

PHONO OUT/LINE OUT 切換の設定が正しく行なわれないと、正常な音質が得られません。

ステレオピンコードと電源コードの接続



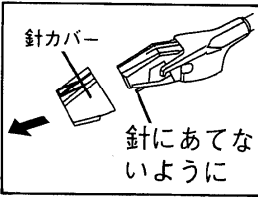
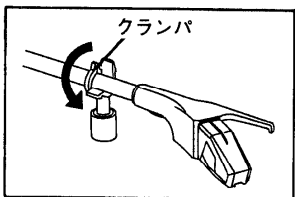

各部のなまえ



演奏のしかた

本機を初めてご使用のときや本機を移動したとき、電源を入れると、操作をしなくてもターンテーブルが回転することがありますが、故障ではありません。(6回ほど回転して止まります。)

オートプレイ(自動演奏)

- 1 ダストカバーを開ける。
 - 2 針カバーをはずす。

 - 3 アームクランパをはずす。

 - 4 レコードをのせる。

 - 5 **SPEED** をレコードの回転数に合わす。
 - 6 **CUEING** を「▼」の位置にする。
 - 7 **START/STOP** を押す。
レコードが回転し、演奏が始まる。
演奏が終わると、トーンアームは自動的に戻り、回転が止まる。(オートリターン機能)
注：レコードをのせていない場合、トーンアームは動きません。
- 演奏を一時止めるとき「▼」の位置にする。(再び演奏するときは「▼」にする。)
- 演奏を止めるとき押す。

マニュアルプレイ(手動演奏)

- 曲の途中から聞くとき、
 - 17cm、30cm以外のレコードやソノシートなど軽いレコードを聞くときは、
- 次の操作で演奏してください。

1. 上の手順1～5をする。
2. **CUEING** を「▼」の位置にする。
(トーンアームが上がる。)
3. トーンアームを好みの位置に動かす。
(レコードが回る。)
4. **CUEING** を「▼」の位置にする。
(トーンアームが下がり、演奏が始まる。)

演奏が終わるとトーンアームは自動的に戻り回転が止まる。(オートリターン機能)

ご注意

1. 演奏スタート時とリターン時にレコードサイズ検出音がしますが、故障ではありません。
2. トーンアームが動いているときは、アームに触れないでください。
3. 本機を初めてご使用のときや、本機を移動した場合、輸送時の振動により、オートリターン機能が正しく働かないことがあります。この場合は、次の操作を行ってください。
 - 演奏の途中でトーンアームが戻るときは、トーンアームが戻って回転が止まるのを待ってから、もう一度操作する。
 - 演奏が終わってもトーンアームが戻らないときは、**START/STOP** を押す。以後、機能は正しく働きます。

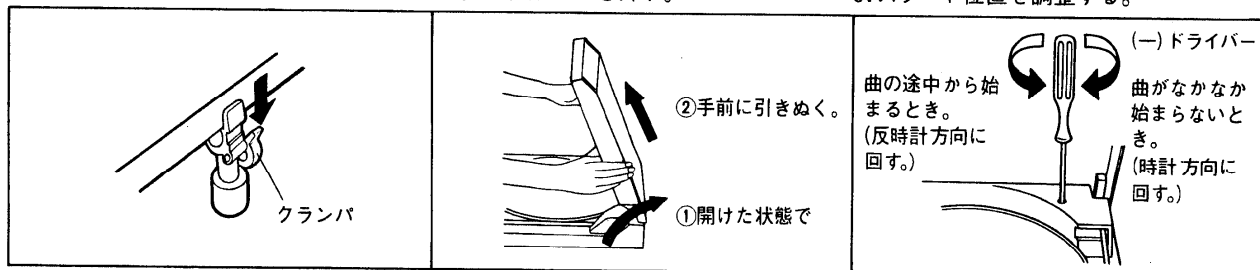
演奏が終わったあとは

1. アームクランパでトーンアームを固定する。
2. 針カバーを取り付ける。

調整について

曲の途中から演奏が始まる時は、オートスタート位置を調整してください。

1. トーンアームをクランパで固定する。
2. ダストカバーを外す。
3. スタート位置を調整する。



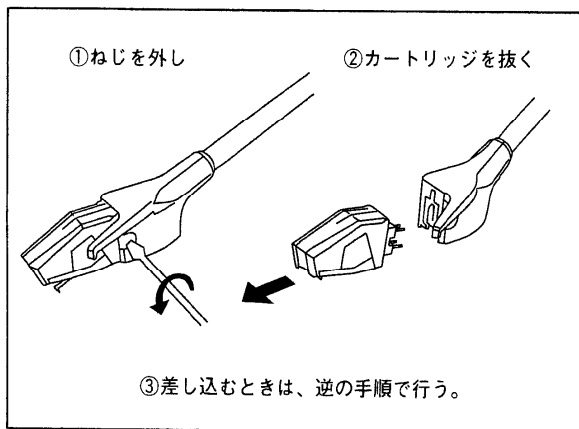
4. スタート位置を確かめる。
左（オートプレイ）の手順3～7を操作する。
5. ダストカバーを取り付ける。

カートリッジとレコード針の交換

注：交換するときは、本機の電源コードを抜いてください。

カートリッジの交換

プラグインコネクタタイプ **MD** のカートリッジは、重量、適正針圧、針先位置、重心位置など、本機にマッチングするように設計されています。簡単な取り付けで、他メーカーのカートリッジの音質をお楽しみいただけます。

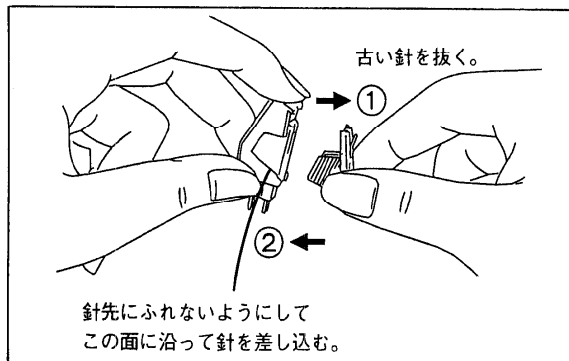


レコード針の交換

新しいレコードでも雑音が出る場合は、針の摩耗が考えられます。新しい針と交換してください。

- 針の寿命..... 約1000時間
- 交換針..... EPS-34CS

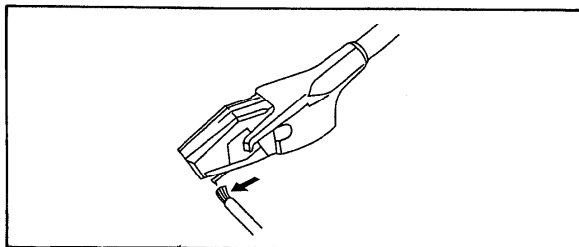
準備：“カートリッジの交換”の方法でねじを外し、カートリッジを抜く。



お手入れについて

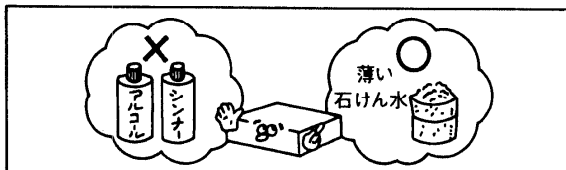
針先についたほこりなどは

やわらかいブラシなどで取り除いてください。
注：レコードもレコードクリーナでよくふいてください。



キャビネットの汚れは

やわらかい布でふきとってください。
(針には絶対にあてないでください。)
ひどい汚れは薄い石けん水に柔らかい布を浸し、固く絞ってふきとった後、乾いた布でふいてください。



定 格

■ターンテーブル部

形 式：オートマチックターンテーブルシステム
 駆動方式：ベルトドライブ
 駆動モータ：DCモータ
 制御方式：DCサーボコントロール
 ターンテーブル：アルミダイカスト製 直径30cm
 回転数：33 $\frac{1}{3}$ 、45r/min
 ワウ・フラッタ：0.06% W.R.M.S. (JIS C5521)
 ±0.085% Peak
 (IEC 98A Weighted)
 S N 比：70dB DIN-B
 (IEC 98A Weighted)

■トーンアーム部

形 式：セミインテグレートッド形
 ストレートトーンアーム
 アーム実効長：200mm

オーバハング：25mm
 トラッキングエラー角：+0°36' (30cm レコード外周)
 +3°18' (30cm レコード内周)

■カートリッジ部

形 式：MM形ステレオカートリッジ
 周波数特性：20Hz~20kHz
 出力電圧：
 PHONO OUT；2.5mV 1kHz, 5cm/s. 水平速度
 (7mV 1kHz, 10cm/s. 45°速度)
 LINE OUT；200mV 1kHz, 5cm/s. 水平速度
 (580mV 1kHz, 10cm/s. 45°速度)
 チャンネル
 セパレーション：20dB (1kHz)
 チャンネルバランス：2dB以内 (1kHz)
 コンプライアンス：8×10⁻⁶cm/dyne (100Hz)

針圧範囲：1.25±0.25g
 推奨負荷抵抗：47k~100kΩ
 交換針品番：EPS-34CS

■総 合

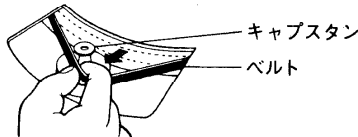
電 源：AC100V, 50/60Hz
 消費電力：2W
 寸法(幅×高×奥行)：360×83×320mm
 (ダストカバーをあげたときの
 最大値)
 360×350×320mm
 (質量)重量：2.5kg

電源「切」時の消費電力……………約0.4W

この定格は、性能向上のため変更することがあります。

故障!?!と思うまえに

修理を依頼される前に、もう一度この表でお確かめください。
 なお、これらの処置をしても直らない場合やこの表以外の症状は、
 お求めの販売店にご相談ください。

症 状	主 な 原 因	処 置
演奏開始/停止スイッチを押してもターンテーブルが回転しない。	ターンテーブルのベルトが外れている。	●ターンテーブルシートをめくり、ベルトをかける。 
音量を上げてゆくと、「ワーン」という大きな音(ハウリング現象)が出る。	レコードプレーヤとスピーカシステムの設置場所や条件が不安定。	●レコードプレーヤとスピーカシステムの間を少し離してみる。 ●レコードプレーヤの下にフェルトあるいは市販のオーディオインシュレータなどを敷いてみる。

アフターサービスについて

■保証書(別に添付してあります。)

保証書は、必ず「販売店名・購入日」等の記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間—ご購入日から1年間です。

■修理を依頼される時

上記の「故障!?!と思うまえに」に従って調べていただき、直らないときには、必ず電源プラグを抜いてから、次の処置をしてください。

●保証期間中は

お求めの販売店にご連絡ください。
 保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

連絡していただきたい内容

- ご住所・ご氏名・電話番号・訪問ご希望日
- 製品名・品番・ご購入日・異常の内容

●保証期間が過ぎているときは

お求めの販売店に、ご相談ください。
 修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

■補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は、製造打切り後8年です。

■アフターサービス等について、 おわかりにならないとき

お求めの販売店または最寄りの「ご相談窓口」(別紙ご参照)にお問い合わせください。

便利メモ

おぼえのために記入されると便利です。

ご購入店名	電話 () -	ご購入年月日	年 月 日
最寄りのご相談窓口	電話 () -	品 番	SL-J8

松下電器産業株式会社 オーディオ事業部

〒571 大阪府門真市松生町1番4号 ☎ (06) 909-1021

RQT3171-S

F0495W0